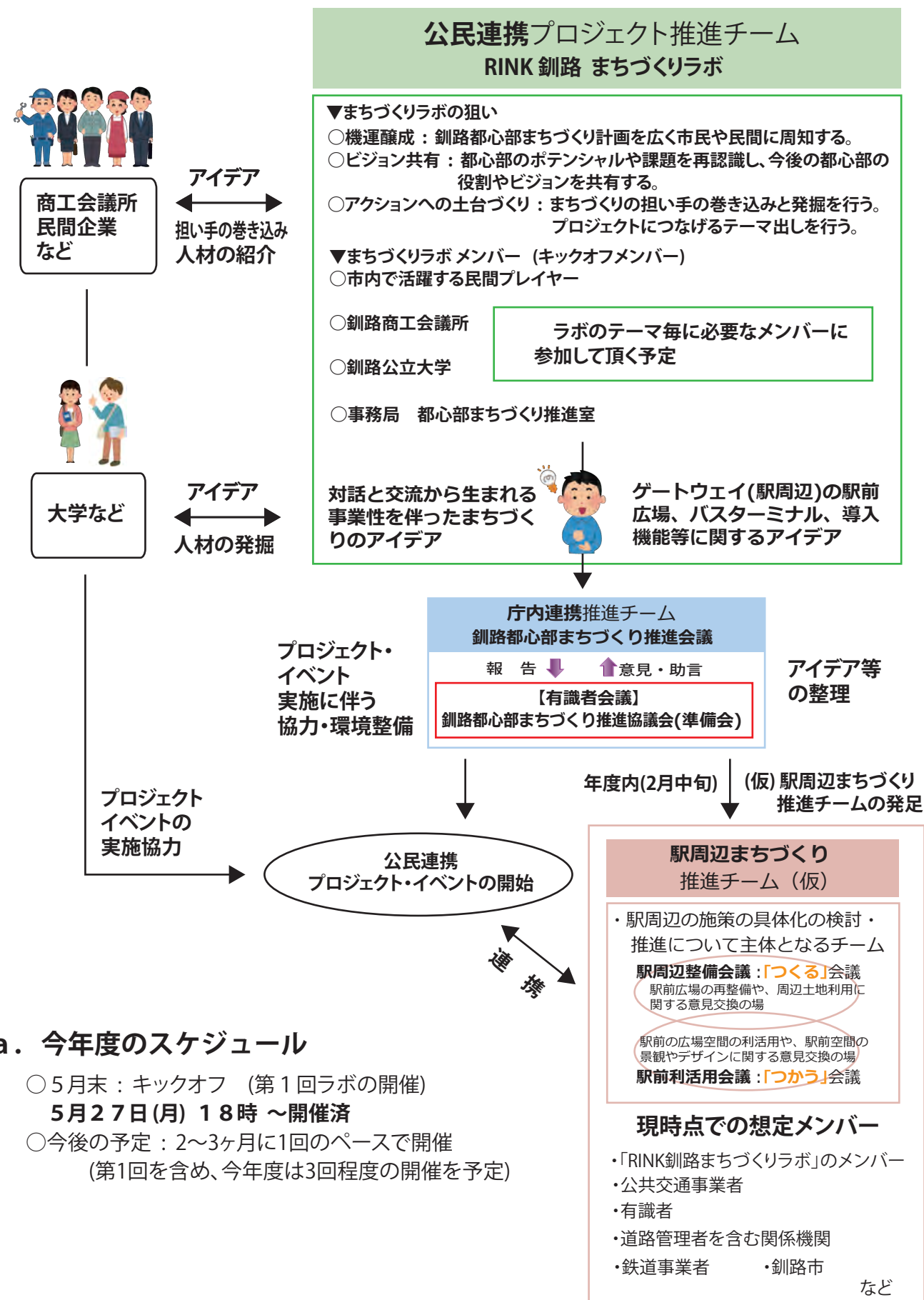


公民連携まちづくりの進め方と 公民連携プロジェクト推進チーム「第1回RINK釧路まちづくりラボ」について

1. 公民連携まちづくりの進め方について



a. 今年度のスケジュール

- 5月末：キックオフ（第1回ラボの開催）
5月27日(月) 18時～開催済
- 今後の予定：2～3ヶ月に1回のペースで開催
(第1回を含め、今年度は3回程度の開催を予定)

2. 「第1回 RINK 釧路まちづくりラボ」の開催概要について

日 時 2019年(令和元年)5月27日(月) 18:00～19:30
場 所 釧路市役所 防災庁舎5階 会議室B

a. 出席者

団体名・所属部署名		氏 名
市内で活躍する民間プレイヤー	(株)ユタカコーポレーション	清水 達也
	(株)うつくしろ	相座 聖美
	(株)山一佐藤紙店	佐藤 公一郎
釧路商工会議所	地域開発委員会 副委員長	杉村 荘平
	青年部 会長	山下 徹也
釧路公立大学		小渡 拓
		齋藤 優
		大向 絢
事務局	釧路市 総合政策部 都心部まちづくり推進室	



b. 主な議事

- (1) RINK 釧路まちづくりラボによる公民連携のまちづくりの進め方について
- (2) 意見交換

c. 主な意見など

- 釧路が盛り上がらないと、道東が盛り上がらない。
- 観光客に対し、冷涼な気候を活かした釧路ならではの体験を提供する。
- 釧路で生活や仕事をする方法を知らない人が多い。知ることと出会うことがポイント。
- 都心部の衰退の原因を把握し、その上で、既存の「もの」の掘起こし、新しい「もの」の発掘を行うべき。
- 「釧路という異国」というキャッチコピーがあったように、釧路ブランドを確立すべき。
- 釧路のまちは、人の動線を考えたまちづくりがなされていない。自分の住んでいる地区から、「まち」に向かうバスがあることを知らない人が多い。
- 在学中にできることは限られるけど、まちづくりにチャレンジしたい。
- 公立大学生は、芦野地区で全ての用事を済ませてしまう。都心部へは、余程の目的意識がないと来ることはない。

